

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 箴言 4:23-25 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 25番
- *交読文 …………… 39番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 179番
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 203番
- メッセージ …………… 思い巡らすことばを管理しなかったサウル(1サムエル記 22:6-23)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 …………… 182番
- 献金感謝の祈り …… パスター
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

____は、肉にあって歩いてはいるが、肉に従って戦っているのではない。
 ____の戦いの武器は、肉のものではなく、神のためには要塞をも破壊するほどの力あるものである。____はさまざまな議論を破り、神の知恵に逆らって立てられたあらゆる障害物を打ちこわし、全ての思いをとりこにしてキリストに服従させ、そして、____が完全に服従した時、すべて不従順な者を処罰しようと、用意しているのである。(2コリント 10:3-6)
 わが子____よ、わたしの言葉に心をとめ、わたしの語ることに耳を傾けよ。それを、あなたの目から離さず、あなたの心のうちに守れ。それは、これを得る____の命であり、また____の全身を健やかにするからである。油断する事なく、____の心を守れ、命の泉は、これから流れ出るからである。曲った言葉を____から捨てさり、よこしまな談話を____から遠ざけよ。____の目は、まっすぐに正面を見、____のまぶたはあなたの前を、まっすぐに見よ。____の足の道に気をつけよ、そうすれば、____のすべての道は安全である。右にも左にも迷い出てはならない、あなたの足を悪から離れさせよ。(箴言 4:20-27)

私達の思いの中には、常時、何かの「言葉」が流れているものであるが、その思い巡らす言葉の内容はいつも管理すべきだ。なぜなら私達は内外に流れる「ことば」に浸し込まれ、その内容に影響を受け、「人となり」が構築されて行くからである。サウルは、健全な主の言葉から耳を背け、その代わりに、内からこみ上げて来る「妬み」「怒り」「殺意」などのサタンの好む言葉をいつも思い巡らしていたため、彼はどんどんサタンの性質を帯びるようになり、ついには取り返しのつかない、してはならない事をするようになってしまう。今回は、言葉の管理をしなかったサウルが何をしてしまったかを見て、私達も戒めを受けたい。

『サウルはギベアで、やりを手にもって…おり、家来たちはみなそのまわりに立っていた。』(6節)
 サウルの人格の崩れ度合いは、さらに進行している。槍は人を殺める武器であり、敵に対して用いるべきなのに彼はいつも手にしている。部下を威圧するためか、気に食わない者に槍を投げつけるためであろう。聖書を「サウル」「槍」で検索すると、彼が敵に槍を投げた記述は一切無く、ただダビデ、ヨナタンに投げ、あとは部下達を前にいつも持っているだけだ。そして最後は、彼に敵が追い迫って死ぬ間際、彼は槍にもたれていた。(2サムエル記 1:6) イエス様が「剣をとる者はみな、剣で滅びる」と言われた通りである。自分の敵サタンには槍を投げず、自分を助け養ってくれた人には槍を投げるような者であってはならない。『あなたがたは皆共にはかってわたしに敵した。…わたしの子かわたしの僕をそそのかしてわたしに逆らわせ、道で彼がわたしを待ち伏せするようになって、わたしに告げる者はない。』(8) 彼はすごい被害妄想に憑かれており、誰も心配しない、みんな自分に敵対している、と思っている。信仰の逆、「疑い」をいつも抱き続ける人はそうになってしまい、人が喜び笑う顔を見ただけでも、自分が嘲られたかと思ってしまうものだ。主に敵対しているのは、むしろサウルの方である。彼は既に主から王位を退けられたのに、ずっと王位にしがみつき、むしろ、油注がれた王・ダビデを殺そうと付け狙っている。もし人がおとなく自分の「王座」から降りて、主に明け渡さないなら、逆に「王座」に支配され、振り回され、やがて「王座」に滅ぼされてしまう。そこに、例外は無い。王座は人が座るものではなく、唯一、主イエス様が座すべき所であるからだ。

ベニヤミン人の部下達は何も言えなかったが、ただ一人、エドム人ドエグがサウルに答える。『わたしはエッサイの子がノブにいるアヒトプの子アヒメルクの所にきたのを見ました。アヒメルクは彼のために主に問い、また彼に食物を与え、ペリシテびとゴリアテのつるぎを与えました。そこで王は人をつかわし…みな王の所にきた。』(9-11) ドエグは、一杯の食物で尊いものを売り渡した、エサウの子孫である。彼は、地位や名誉という一杯の食物ほしさに、神の祭司を告げ口する。『サウルは彼に言った、「どうしてあなたはエッサイの子と共にあってわたしに敵し、彼にパンと剣を与え、彼のために神に問い、きょうのように彼をわたしに逆らって立たせ、道で待ち伏せさせるのか」。』(13) アヒメルクは唐突こんな事を言われ、暫く訳が分からなかっただろう。サウルのようにいつも被害妄想を巡らせている者は唐突に意味不明な事で人を責め、凍りつかせるものだが、それが絶対権力を持つ王であるならその国は悲惨である。サタンは歴史上、何度も王を被害妄想にさせ、多くの国々を悲惨に陥れて来た。そもそも本来、イスラエルの王は祭司に物申す事はできないはずで、逆に王が祭司の御言葉に服従しなくてはならない。(申命記 17:14-20、2歴代誌 26:16-23) それなのにサウルは祭司も御言葉も、完全に自分の下に敷いてしまっている。彼は御言葉を退けた故に、王座から退けられた、とサムエルは言った。祭司アヒメルクは、王の言葉には、事実を答え、極めてもつともな事を言ったが、『王は言った、「アヒメルクよ、あなたは必ず殺されなければならない。あなたの父の全家も同じである。』(16) こうしてサウルは祭司を抹殺し、自ら主に何う道を断ってしまった。それでダビデは、逆に、主に何う祭司を得る事になる。

人は、思い巡らす内容によって人格が形成される。サウルのように猜疑心・妬み・怒りを思い巡らしているなら、サタンに似た者となって行き、断絶してはならない人を断絶し、主への道をも自ら断ってしまう。いつも健全な主の言葉を思い巡らし、昼も夜も口ずさみ、水のほどりに植えられた木のように、時が来れば豊かに実らせ、何をしていても栄える皆さんでありますように！ イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30~
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:30~

水曜礼拝

1部 13:00~
2部 19:30~

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストークタワー大通公園I-201
TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube